

ジョンデイビットアーノルド博士（以降アーノルド氏）は、1942年5月13日ペンシルバニア州ダッチカントリーの小規模農家に生まれる。父親は作家で発明家。母親は芸術家でアトリエを経営する。アーノルド氏が6歳のとき、一家はメキシコに移住、以来6年間メキシコで過ごす。1958年ウェイクフィールド公立中学校に入学、その後アリゾナ大学でスペイン語と社会学の学位を、さらに経営学と教育学で博士号を取得する。12歳より、スペイン語の知識を生かして農業労働者収容所でボランティアを行い、18歳でアリゾナ州カタリナで最初の南部バプスト教会の牧師を務める。大学卒業後はアリゾナの私立学校で教鞭をとる。

その後アーノルド氏はアリゾナ州ツーソンでの貧困教育を目的とする PPEP 案を設立、1万9千ドルの資金で農業労働者の教育を始める。アーノルド氏は、教師としてだけでなく、スクールバスを運転、修理も自身で行い、学校を支えた。幼少時代のメキシコでの滞在体験は、異国の慣れない環境で過ごす子供たちへの理解を助けている。

PPEP 設立以来 40 年間、貧しい人々の生活の質を高めることを目標に掲げている。現在 550 人以上の社員を抱え、アリゾナ各地に 13 の公立高校を設立、既に 3500 人の生徒が卒業した。2003 年には通信制高校を設立し 4500 人の生徒が勉強している。2007 年、アリゾナ州フェニックス大学と共に、カリフォルニア州とアイダホ州にも通信制高校を設立、またラテンアメリカの生徒に対して大学での資金援助を行い、LULAC の一員としてその普及活動にも参加している。さらに 18 の発達障害者のグループホームの運営を行うなど、障害者福祉も支えている。近年では、マイクロビジネスプログラムをインド、アフリカでも進めている。また、ハリケーンの被害者に対する復旧活動に献身的に尽くしており、その人道的活動は多くの人々を助けている。

アーノルド氏の偉業は国を代表する模範として賞賛され、ホワイトハウスで2度の表彰を受けている。